

# 財務書類の概要（令和元年度）

## 貸借対照表（様式第1号）

年度末における資産、負債等の状況（ストック情報）を表しています。

借方		貸方	
■資産の部	221億3,444万円	■負債の部	27億4,957万円
1 固定資産	220億9,026万円	1 固定負債	18億2,777万円
有形固定資産	220億9,026万円	地方債	18億805万円
土地	116億3,212万円	退職手当引当金	1,973万円
建物	69億1,673万円	2 流動負債	9億2,179万円
工作物	11億7,797万円	翌年度償還予定地方債等	8億9,564万円
建設仮勘定	3,595万円	賞与等引当金	1,438万円
物品	196億296万円	預り金	1,177万円
減価償却累計額	△172億7,547万円		
2 流動資産	4,418万円	■純資産の部	193億8,487万円
現金預金	4,418万円	純資産	193億8,487万円
資産合計	221億3,444万円	負債・純資産合計	221億3,444万円

有形固定資産減価償却率は62.4%  
施設全体として老朽化しつつあります。

## 行政コスト計算書（様式第2号）

行政サービスにかかった費用とその行政サービスの財源を表しています。

■経常行政コスト	31億6,700万円
1 人にかかるコスト	1億8,331万円
職員の給与等	1億6,101万円
退職手当引当金繰入額	376万円
賞与等引当金繰入額	1,438万円
2 物にかかるコスト	29億4,224万円
物件費	11億1,523万円
維持管理費	4億5,552万円
減価償却費	13億6,774万円
3 移転支的コスト	121万円
負担金等	121万円
4 その他のコスト	4,024万円
支払利息	4,024万円
■経常収益	7億4,484万円
使用料・手数料	2億7,317万円
その他収入	4億7,168万円
■（差引）純経常行政コスト	24億2,216万円
臨時損益	△68,267万円
■純行政コスト	31億483万円

## 資金収支計算書（様式第4号）

資金の出入りの情報をその性質に区分して表しています。

■前年度末歳計現金残高	4,518万円
■本年度歳計現金増減額	△1,277万円
1 業務活動収支	9億4,941万円
支出合計	17億9,549万円
収入合計	31億2,510万円
2 投資活動収支	△2億9,267万円
支出合計	3億272万円
収入合計	1,005万円
3 財務活動収支	△6億6,951万円
支出合計	13億791万円
収入合計	6億3,840万円
■本年度末歳計現金残高	3,241万円
本年度末歳計外現金残高	1,177万円
■本年度末現金預金残高	4,418万円

【純資産比率】 87.6%  
(計算式) 純資産÷資産合計×100  
【将来世代負担比率】 12.2%  
(計算式) 地方債÷有形固定資産×100

住民1人あたりの指標  
※住民人口は岸和田市人口と貝塚市人口の合計とします。  
278,949人=193,615人+85,334人  
貸借対照表  
資産 79,349円  
  有形固定資産 79,191円  
負債 9,856円  
純資産 69,493円  
純行政コスト 11,130円

## 純資産変動計算書（様式第3号）

1年間で純資産がどのように変動したかを表しています。

■前年度末純資産残高	198億593万円
■本年度変動額	△4億2,106万円
純行政コスト	△31億483万円
税収等（分担金）	26億8,377万円
■本年度末純資産残高	193億8,487万円

※表中金額については、表示単位未満を四捨五入のため、合計と合わない場合があります。